

# 学則の変更の趣旨等を記載した書類

## 目次

ア	学則変更（収容定員変更）の内容	1
イ	学則変更（収容定員変更）の必要性	1
	1) 「物理科学科」「数理サイエンス学科」設置の趣旨および必要性	1
	2) 教育上の目的	2
	3) 養成する人材の特徴	3
	4) 収容定員を変更する理由および必要性	3
ウ	学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容	4
	1) 教育課程の変更内容	4
	a) 教育課程の概要	4
	b) 教育課程の編成方針	5
	2) 教育方法および履修指導方法の変更内容	5
	a) 卒業要件の概要	5
	b) 最高履修上限単位数	7
	c) 講義科目の履修学生数	7
	d) 特別なプログラムにおける学修	7
	3) 教員組織の変更内容	7
	4) 施設・設備に関する変更	8

## ア 学則変更（収容定員変更）の内容

青山学院大学理工学部は、令和 3 年 4 月 1 日より相模原キャンパス（神奈川県相模原市中央区淵野辺 5-10-1）に、入学定員がそれぞれ 105 名、55 名、収容定員が 420 名、220 名の「物理科学科」および「数理サイエンス学科」（令和 2 年 4 月末、学科設置届出書類提出予定）を、既設の「物理・数理学科」（定員 130 名、収容定員 520 名）を廃止し入学定員 30 名、収容定員 120 名の純増を行うことにより開設予定である。このために、大学の収容定数の総数を増加する収容定員変更の届出を行うものである。

## イ 学則変更（収容定員変更）の必要性

まず、学科改組の必要性を述べ、次に収容定員変更の必要性を述べる。

### 1) 「物理科学科」「数理サイエンス学科」設置の趣旨および必要性

青山学院大学理工学部は 1965 年に設置され、当初から「物理学科」は設けられ物理学に関する教育を行ってきた。数学の重要性は当時から認識され、数学系学科の設置は何度も議論がなされてきた。2004 年の「物理学科」と学部共通科目を主に担当していた「数学教室」の融合により「物理・数理学科」が発足し、学生は物理学および数学の基幹となる科目を学んだ上に専門科目に進み、「物理コース」「応用物理コース」「数理コース」に属して卒業研究を行うようになった。物理学および数学の応用範囲が拡大しニーズが広がったことから、2014 年度以降は同学科内を「物理科学コース」と「数理サイエンスコース」に再編成し、学生は 2 年次からいずれかのコースに属して専門科目の学習や専門分野の研究を進めることになり、現在に至っている。ここでは、物理学をその対象を基準にして基礎と応用に分離して取り扱うのではなく、物理学の概念や手法を包括的に学んだ上で様々な学問分野に適用していくという考え方が基になっている。また数理科学に関しては、その応用範囲は経済や金融の理論が確率過程論を基礎に述べられるなど拡大の一途であるが、自然科学、情報科学への応用を第一に念頭において教育、研究を進めている。

このような傾向、社会からの要請は高まるばかりである。物理科学に関しては、自然科学の探究に従来の物理学が対象とした分野が重要であることは言うまでもなく従来通りであり、生命科学や量子情報学などの学際的な分野や従来は自然科学の考察対象とならなかった人間や社会を対象とした学問についても、物理学で培われた手法が活用されている。数学に関しても、上述の確率過程論の他にも、情報セキュリティにおける代数学に基づく暗号理論、グラフィックスのための幾何学などは、それぞれの分野において理論の根幹をなしている。最近ではビッグデータの解析に位相幾何学が応用されるなど、数学の社会における重要性は高まるばかりである。

一方で、学問としての物理科学、数理科学の進歩および応用範囲の拡張は進む一方であり、詳細は次の項目で述べるが、学生が身につけるべき事項が基礎、応用両面において増加し、教育の専門性を高める必要が出てきた。とくに、「数理サイエンスコース」に関してこの傾

向が強いと考えた。そこで、物理科学、数理科学およびこれらの応用に関して専門に学ぶ学生のために、教員を増員して「物理科学科」「数理サイエンス学科」を新設し、講義、演習科目のさらなる充実を図る。

なお、現行の「物理・数理学科」への一般入試の志願者は毎年入学者の18倍を超えている。また、卒業生に関しては、大学院進学、中学校、高等学校の教員の他、製造業、情報通信業、教育関連企業、銀行などの金融系企業、保険会社などへ数多く就職している。これらは、物理系学科、数理系学科の学生に対する社会のニーズの大きさと広がりを表していると考えられる。

## 2) 教育上の目的

### 【物理科学科】

物理科学科では、科学・技術の根幹をなす物理学の理論および実験技術を習得し、論理的思考力と問題解決能力を持ち、セミナーや卒業研究等を通じて応用力・コミュニケーション能力を身につけた社会に貢献できる技術者、研究者を育成する。教育、研究の対象とする学問分野は、具体的には量子・統計物理学、固体物理学、天文・宇宙物理学、原子物理学、生物物理学、およびこれらの研究テーマの境界における学際的な領域である。高度な物理学が最先端の技術、複雑な社会現象解明と直接関わり合うようになってきている中で、最新の物理科学が要求する研究解析手法や技術を使いこなせる人材を育てる。

講義科目だけではなく実験科目にも重点をおくことで、物理学は教科書に記述されているだけの学問ではなく身の回りの自然現象すべてを実際に表していることを体感させる。また、演習科目を通じて、基礎知識を活用して問題を解決する能力を習得させる。

卒業研究においては、基礎から応用まで幅広い物理科学の分野のなかから各自テーマを選び、最先端の研究を実践させる。ここでは、対象とする自然現象から問題点を抽出し、それを適切なモデル化によって対象を物理学の立場から解析していくことを通じて、論理的思考力・問題解決能力を高め、さらにはその研究結果を伝えることを通じてプレゼンテーション能力を習得させる。

### 【数理サイエンス学科】

「数理サイエンス学科」の目的は、十分な基礎力と問題解決能力及び研究結果を他者に伝えるためのコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を身につけた人材を輩出することである。このために、計算や数学的議論を基礎においた思考実験を数多く経験すること、そして対話と議論を実践することを重視する。また、どんな事項も鵜呑みにせず、その理由や出自などを確認しながら応用する習慣を身につけさせる。専門領域は、代数学、幾何学、微分方程式論、確率論、数値解析などと物理学、生物学などの自然科学、情報理論などの情報科学、金融工学などの工学への応用である。

数学・数理科学は、それ自身の内発的な力とともに、物理学などの他の自然科学や工学、経済学などからの刺激や要請を受けて発展してきた。ここでは、現象を数学の言葉で記述し

厳密な議論を行うことにより、根源的な問題の解決を図り、新しい現象の発見、研究を行う。ここで重要になるのが、基礎的な思考力であり問題解決能力である。社会における、必ずしも最適な解が存在するとは限らない、複雑な問題に対処するための第一歩として、解答が確定的である問題を解決する能力を身につけさせる。そして、数学本来の使命である抽象化と普遍化を経験させるとともに、自然科学や情報科学への応用を念頭に置いた題材を演習、卒業研究に取り上げることによって、未知の問題への好奇心と関心を持つ姿勢を育成したい。

さらに、社会で活躍するためには、研究結果や自分の考えを伝えるコミュニケーション能力や結果を分かり易く伝えるプレゼンテーション能力が必須である。十分な量の演習と結果発表、卒業研究の準備、実行から発表までを丁寧に指導することによりこれらを身につけさせたい。

### 3) 養成する人材の特徴

#### 【物理科学科】

物理科学とは、従来の物理学の範囲にとどまらず、自然科学全般や複雑な社会現象を対象とし、これについて最先端の物理学の手法を用いて解明する学問である。この考えに基づき、「物理科学科」では、専門能力として、基礎および応用の物理学に基づき、現実世界で遭遇する種々な問題を解決する能力を身につけた人物を養成する。基礎知識に基づいて対象の観察と問題把握が行え、科学的立場からの分析と解析に基づく洞察力と判断力を持つ人物、対象を客観的かつ論理的に再構築し、さらに本質的な点を抽出しモデル化することによって、多様な問題に対しその解決に向けた具体的なアプローチ方法の提案や実践を行う能力を身につけ、そして対象の問題点とその解決案を他者に伝えるコミュニケーション能力を身につけている人材を育てる。

#### 【数理サイエンス学科】

「数理サイエンス学科」は、数学・数理科学の基礎学力、考察力を身につけ、社会における様々な問題の本質から考察しその解決に貢献できる人材の育成を目的としている。問題としては、数学的な問題に限らず、情報科学、工学、医学、ファイナンスなどの数学・数理科学の応用分野における問題も幅広く視野に入れている。数学・数理科学を専門とする研究者や中学校、高等学校の教員の養成も従来通り目的の一つである。基礎学力を高め、多くの応用を経験し、コミュニケーション能力およびプレゼンテーション能力を身につけた学生は、重要な教員の卵である。

### 4) 収容定員を変更する理由および必要性

現行の「物理科学コース」には、理工学部設立当初の「物理学科」の時代から100名程度の学生が配属されて教育・研究を行い、十分な成果をあげてきた。物理系学科に対する期待、ニーズは今後も高い水準で推移すると思われる、現在の適正規模を保つこととした。一方、「数理サイエンスコース」に属する教員は、過去の経緯もあり、「理工学部共通科目」の多

くを担当している。このために開講科目に余裕が少なく、「数理サイエンスコース」には専門以外の科目に関する高度な内容の講義を履修する、または物理学に関する科目の履修をするなどして卒業要件を満たしている学生が少なくない。講義、演習科目をさらに充実させ、より専門性を高めた内容まで含んだ教育、研究の環境を学生に提供するためには、教員の増員は避けられず、専任教員2名、助教2名の増員をする。

教員の増員は、施設の整備とともに、大学の費用負担を増大させる。大学全体、既設学部、理工学部の既設学科に財政的な負担をかけないためには、収容定員の増加が必要である。また、一学科として運営していくためには、一定規模の学生を有することが望ましいとも思われる。施設の整備に関しては、現在使用されていない教室、資料室を改装して使うため大きな財政負担にはならないと思われる。

なお、卒業研究の指導は、両学科とも教員全員で分担して行う。両学科とも「理工学部共通科目」および入学試験業務を担当している関係で、各研究室で卒業研究を行う学生数が理工学部の他学科よりも若干少なく、学生の修学には有利な環境となっている。

## ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

### 1) 教育課程の変更内容

「物理科学科」「数理サイエンス学科」における教育課程は、基本的には既設の「物理・数理学科」のものを増強、改善している。学生増やカリキュラムの増強による負担の増加は数理教員の増員によってまかなうため、理工学部の既設学科や既設学部における学修条件に対して負の影響を与えることは考えられない。逆に、教員の増員により理工学部共通科目のカリキュラムを一部改善することが可能になったため、既設学科の学生に利益が出ると思われる。

以下、教育課程の概要と編成方針について述べる。

#### a) 教育課程の概要

「物理科学科」「数理サイエンス学科」では、本学の既設学部と同様、教育課程を教養教育課程と専門教育課程に大別して運用する。教養教育課程に関しては、外国語科目、青山学院大学建学の精神を体現するキリスト教関連科目および大学の共通教育科目である青山スタンダード科目が各学年に配置され、専門科目以外の教養科目を通じて自己の科学技術・社会・文化とのかかわり合いに関する多面的、多角的な視野を習得する。

数学の基礎的な科目や物理学、化学の基礎科目などについては、青山学院大学理工学部の「学部共通科目」として開講するが、物理学と数学に関する科目は原則としてすべて「物理科学科」または「数理サイエンス学科」の専任教員が行う。

さらに進んだ専門教育課程は両学科独自の学修プログラムとして設計しているが、多くは「物理・数理学科」において開設していた講義科目、演習科目、実験科目などである。今回の改組により、量、質とも改善されており学修向上に寄与すると思われる。また、両学科

とも自由選択科目の枠を設け、理工学部他学科や他学部の一部科目を自主的に履修できるように措置を講じている。

## b) 教育課程の編成方針

### 【物理科学科】

「物理科学科」では、

『基礎だけにとどまらず、種々の分野への応用にも目を配った物理科学の教育を通して、創造的かつ人・社会・自然環境に対して責任を担いうる技術者・研究者を育成する教育プログラムを構築する。学生自身が自分の進むべき道を熟考し、自らの意志と責任において履修計画を立てる。』

という方針に基づいて、専門課程の諸科目を配置する。具体的には、力学、電磁気学、量子力学、統計力学、相対性理論等の基礎物理学から、固体物理学、宇宙物理学、生物物理学など従来の物理学が対象とした分野、さらには、超伝導工学、ナノテクノロジー、量子エレクトロニクス等の最先端の幅広い応用分野まで、さまざまな階層・スケールサイズにおよぶ物理学を各種の実験、演習科目とともに学び、卒業研究へとつなげる。

### 【数理サイエンス学科】

「数理サイエンス学科」では、

『基礎を重視しつつ、自然科学や情報科学の種々の分野への応用を視野に入れた数理サイエンスの教育を通して、人、社会および自然環境に対して責任を担いうる創造的な研究者、教員、技術者を育成する教育プログラムを構築する。』

という方針に基づいて、解析学、代数学、幾何学など数学の科目および数値解析などの応用科目と演習科目などからなる専門教育課程の諸科目を配置する。学生はこれらによって身につけた基礎学力、問題解決能力などを生かして卒業研究を行い、数多くの演習によって培われたコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を基に発表を行う。

## 2) 教育方法および履修指導方法の変更内容

### a) 卒業要件の概要

「物理科学科」「数理サイエンス学科」とも、4年以上（最長8年を限度）在学し、卒業に必要な所定の要件を満たしたものに、学士（理学）の学位を授与する。卒業に必要な単位の合計は、「物理科学科」は138単位以上、「数理サイエンス学科」は136単位以上とする。具体的な卒業要件は次のようになる。

### 【物理科学科】

教養科目

青山スタンダード科目（第二外国語科目を含む） 24単位

学部科目

学部外国語科目（英語科目）	10 単位
専門科目	
学部・学科 科目	
〔内訳〕 物理・共通科目	14 単位
専門実験・実習・演習	14 単位
輪講・卒業研究	12 単位
第 1 科目群	30 単位
第 2 科目群	22 単位
自由選択科目	8 単位
合計	138 単位

ただし、3 年次生から 4 年次生に進級するためには 3 年次終了時に以下の履修条件を満たしている必要があるとする。

- 1) 3 年以上在学していること。
- 2) 3 年次までに必修科目のうち下記の科目を除く卒業要件単位を満たしていること。

    青山スタンダード科目の「第二外国語科目」

    学科科目の「統計力学 I」

- 3) 学科科目の選択必修科目の中から 38 単位以上習得していること。
- 4) 卒業要件内単位のうち 116 単位以上習得していること。

【数理サイエンス学科】

教養科目

    青山スタンダード科目（第二外国語科目を含む） 24 単位

学部科目

    学部外国語科目（英語科目） 10 単位

    専門科目

        学部・学科 科目

            〔内訳〕 数学・共通科目 10 単位

            専門実験・実習・演習 16 単位

            輪講・卒業研究 12 単位

            第 1 科目群 30 単位

            第 2 科目群 28 単位

自由選択科目 6 単位

合計 136 単位

ただし、3 年次生から 4 年次生に進級するためには 3 年次終了時に以下の履修条件を満たしている必要があるとする。

- 1) 3 年以上在学していること。
- 2) 3 年次までに必修科目のうち下記の科目を除く卒業要件単位を満たしていること。

青山スタンダード科目の「第二外国語科目」

学科科目の「計算機基礎実習」

3)学科科目の選択必修科目の中から 38 単位以上習得していること。

4)卒業要件内単位のうち 114 単位以上習得していること。

また両学科とも、海外の協定校または認定校への留学をする学生に対して、3 年次における必修科目に関して措置を講じ不利益が生じないようにしている。

#### b) 最高履修上限単位数

「物理科学科」「数理サイエンス学科」とも、各年次における学修の質を担保するために、最高履修制限単位を「各年次 48 単位」とし、各年次でこの単位数を超えて履修することはできないこととする。なお、教職課程科目の単位は、最高履修制限単位に含まれないものとする。

#### c) 講義科目の履修学生数

講義科目ごとの履修学生数は、授業の種類によりおおよそ次のように設定し、教育の質を確保することを目指す。

青山スタンダード科目の講義科目	上限 120 名程度
英語科目と第二外国語科目	30 ～ 40 名程度
数学・物理・共通科目	120 名程度以下

#### d) 特別なプログラムにおける学修

理工学部では、海外留学を幅広くサポートするために「理工学国際プログラム」、早い段階から高度な学習・研究をしたい学生の希望に応えるために「理工学高度実践プログラム」を開設している。

「理工学国際プログラム」では、理工学の研究に関連するテキストを教材にするなど海外留学しやすくなるように改革したカリキュラムと詳細な説明会に加え、研修先の文化に関する学習をプレゼンテーションとともに行うなど留学の準備をしている。

「理工学高度実践プログラム」では、理工学部の各学科がいくつかのプロジェクトを提示し、学生は興味をもった研究室にいて 2 年次から学習・研究に参加できるとしている。現在「物理・数理学科」で提示されているプロジェクトは継続される。

### 3) 教員組織の変更内容

「物理科学科」「数理サイエンス学科」とも、初年度から欠員なく開設する。開設後当面は、既設の「物理・数理学科」も兼担して担当することになるが、学年進行に伴うものであり増員もなされるので、教員組織の変更に関して、変更前と比較して、同等以上の内容が担保される。また、学内規定によると、教授職は 68 歳が定年齢であり、准教授職は 65 歳と



なっている。両学科の教員で完成年度を迎えるまでに定年齢に達する教員はいない。

以下、両学科の教員組織の変更に関して述べる。

#### 【物理科学科】

「物理科学科」所属の教員は、開講初年度から教員 11 名、助教 11 名である。これらはすべて既設の理工学部物理・数理学科からの移籍教員である。ただし、教員 11 名のうちの 3 名は物理・数理学科との兼任教員である。

教員は、物理学・物理科学の領域において十分な研究業績と教育経験を有する者を任用する。助教に関しても、十分な研究業績を有する者を採用する。教員は、学科の講義科目、演習科目、実験・実習科目、輪講、卒業研究および理工学部共通科目を担当する。助教は実験・演習科目および輪講・卒業研究の補助が主たる業務である。ただし、助教は独立した研究者であるので、その専門に関する能力や知識を生かして 3、4 年次の講義においても補助を行う場合がある。

#### 【数理サイエンス学科】

「数理サイエンス学科」所属の教員は、新設年度から教員 10 名、助教 5 名である。専任教員のうち、8 名は既設の理工学部物理・数理学科からの移籍教員、2 名は新任の教員である。また、教員 10 名のうちの 2 名は物理・数理学科との兼任教員である。

教員は、数学・数理科学の領域において十分な研究業績と教育経験を有する者からなる。助教に関しても、十分な研究業績を有する者を採用する。教員は、学科の運営する講義科目、演習科目、輪講、卒業研究および理工学部共通科目を担当する。助教は演習科目の補助が主たる業務である。ただし、それぞれが独立した研究者であるので、その専門に関する能力や知識を生かして 3、4 年次の講義においても補助を行う場合がある。

#### 4) 施設・設備に関する変更

定員増は 30 名で大きな変更ではないが、教員 2 名、助教 2 名の増員を行うこともあり、相模原キャンパス O 棟の 1 階の一部を改装して、教員研究室 3 室、学生居室 2 室、電算機室、定員 15 人程度のセミナー室 2 室、定員 30 人程度のセミナー室 1 室を新たに整備する。また、物理・数理学科の所有する既存の設備として、教員研究室、研究実験室、学生居室、物理計測実験室・物理専門実験室、輪講室、印刷機室、計算機サーバ室、天体観測設備などがあり、これらは改組とともに両学科へ移管される。

その他、青山学院大学相模原キャンパスでは、教育の質向上のための施設・設備の充実を図っている。情報関連では、「PC 教室」を整備し、情報系の授業等で使用されるシステムを提供するとともに、研究室や学生個人が所有する PC に対するソフトウェアライセンスの提供を行い、さらにサポートラウンジを開室して学生のパソコンに関する相談に答えている。また、講義資料の配付、受講生への連絡・通知、レポートの収集など授業運営のサポートならびに受講生とのコミュニケーションの道具として学内外で利用できる「授業支援システム」の整備も行われている。無線 LAN の環境が整っていることは言うまでもない。「物理

科学科」「数理サイエンス学科」の教育・研究においても、これらを必要に応じて積極的に利用することにより、高い水準を維持していけると思われる。

教育課程等の概要														
(理工学部 物理科学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
物理・共通科目	力学Ⅰ	1前	2			○			1					
	力学Ⅱ	1後	2			○			1					
	線形代数ⅠA	1前	2			○							兼10	
	線形代数ⅠB	1後	2			○							兼10	
	解析学ⅠA	1前	2			○							兼10	
	解析学ⅠB	1後	2			○							兼10	
	基礎物理数学	1前	2			○			1					
	小計(7科目)	—	14	0	0				2	0	0	0	0	兼10
専門実験・実習・演習	物理基礎実験Ⅰ	1前	1					○	2					
	物理基礎実験Ⅱ	1後	1					○	2					
	化学基礎実験	1前・後	2					○					兼3	
	電気計測実験	1前・後	1					○					兼1	
	ものづくり実習	1前・後	1					○					兼3	
	情報処理実習	1前・後	2					○					兼4	
	物理計測基礎実験Ⅰ	2前	1					○	4				兼1	
	物理計測基礎実験Ⅱ	2後	1					○	3				兼1	
	コンピュータプログラミング演習	2後	1				○		1				兼1	
	コンピュータアプリケーション演習	3前	1				○		1				兼1	
	物理専門実験Ⅰ	3前	1					○	5				兼2	
	物理専門実験Ⅱ	3後	1					○	5				兼2	
	物理専門実験A	3前	2					○	5				兼2	
	理工学実践演習Ⅰ	2前	2				○		7	1			兼3	
	理工学実践演習Ⅱ	2後	2				○		7	1			兼3	
	理工学実践演習Ⅲ	3前	2				○		7	1			兼3	
	理工学実践演習Ⅳ	3後	2				○		7	1			兼3	
	物理学演習Ⅱ	2前		2			○		1					
	物理学演習Ⅳ	2後		2			○						兼1	
	物理数学演習Ⅰ	2後		1			○		1					
	物理数学演習Ⅱ	2後		1			○		1					
	物理学演習Ⅲ	3前		2			○			1				
	計算機基礎実習	3前		1				○	1					
小計(23科目)	—	24	9	0				7	1	0	0	0	兼14	
輪講・卒業研究	物理学輪講Ⅰ	4前	2				○		7	1				兼3
	物理学輪講Ⅱ	4後	2				○		7	1				兼3
	物理学輪講A	4後	4				○		7	1				兼3
	卒業研究Ⅰ	4前	4				○		7	1				兼3
	卒業研究Ⅱ	4後	4				○		7	1				兼3
	卒業研究A	4後	8				○		7	1				兼3
	理工学高度実践研究Ⅰ	4前	4				○		7	1				兼3
	理工学高度実践研究Ⅱ	4後	4				○		7	1				兼3
小計(8科目)	—	32	0	0				7	1	0	0	0	兼3	
	電磁気学	2前	4			○			1					
	量子力学Ⅰ	2後	4			○							兼1	
	統計力学Ⅰ	3前	4			○				1				
	波動	2前		2		○							兼1	
	解析力学	2前		2		○			1					
物理数学Ⅰ	2前		2		○			1						

専門科目	第1科目群	電磁光学概論	2後	2	○									兼1		
		熱物理学	2後	2	○			1								
		物理数学Ⅱ	2後	2	○			1								
		量子力学Ⅱ	3前	2	○										兼1	
		量子力学Ⅲ	3後	2	○			1								
		相対論	3前	2	○			1								
		固体物理	3前	2	○			1								
		物理実験学	3前	2	○										兼1	
		数値解析	3前	2	○			1								
		統計力学Ⅱ	3後	2	○					1						
		微分方程式Ⅰ	2前	2	○										兼2	
		線形代数Ⅱ	2前	2	○										兼2	
		小計(18科目)	—	12	30	0			6	1	0	0	0		兼6	
		第2科目群	数学演習A	1前	2		○									兼10
			数学演習B	1後	2		○									兼10
			物理学演習Ⅰ	1後	2		○		4	1						
			電気・電子回路入門	3前	2		○									兼1
			天体物理概論	3前	2		○									兼1
	原子核物理		3前	2		○		1								
	最新物理講義		3前	2		○									兼1	
超伝導	3後		1		○		1									
相関と物性	3後		1		○		1									
生物物理	3後		2		○		1									
宇宙物理	3後		2		○		1									
場と粒子	3後		2		○									兼1		
生体センシング	3後		1		○		1									
先端デバイス	3後		1		○		1									
先端応用光科学	3後		2		○		1									
流れと変形	3後		1		○									兼1		
物体と地震の運動	3後		1		○		1									
量子化学Ⅰ	4前		2		○									兼1		
量子化学Ⅱ	4後		2		○									兼1		
微分方程式Ⅰ演習	2前		1			○								兼1		
線形代数Ⅱ演習	2前		1			○								兼1		
地学	2前		2		○									兼1		
生物基礎実験	2前		1								○			兼1		
地学基礎実験	2前		1								○			兼1		
小計(24科目)	—	0	38	0			7	1	0	0	0		兼14			
選択科目	化学Ⅰ	1前		2	○									兼4		
	化学Ⅱ	1後		2	○									兼2		
	線形代数Ⅲ	2後		2	○									兼2		
	解析学Ⅱ	2前		2	○									兼2		
	解析学Ⅱ演習	2前		1		○								兼2		
	化学Ⅲ	2前		2	○									兼1		
	解析学Ⅲ	2前		2	○									兼1		
	解析学Ⅲ演習	2前		1		○								兼1		
	基礎化学	2後		2	○									兼1		
	サイバネティクス	2後		2	○									兼1		
	複素解析Ⅰ	2後		2	○									兼2		
	微分方程式Ⅱ	3前		2	○									兼1		
	解析学Ⅳ	3前		2	○									兼1		
	理工学実践研究Ⅰ	3前		4			○	7	1					兼3		
	解析学Ⅳ演習	3前		1			○		1							
	複素解析Ⅰ演習	2後		1			○							兼1		
物理科学セミナー	3後		2			○							兼1			
一般機械工学	3前		2	○									兼4			
一般経営工学	3後		2	○									兼1			
微分方程式Ⅲ	3後		2	○									兼1			

	一般電気工学	3後			2	○									兼1
	理工学実践研究Ⅱ	3後			4		○		7	1					兼3
	インターンシップ	3後			1			○							兼1
	解析学Ⅴ	4後			2	○									兼1
	電気物性学Ⅱ	4前			2	○									兼1
	科学哲学	4後			2	○									兼1
	量子電子デバイス	4後			2	○									兼1
	半導体デバイス	4後			2	○									兼1
	生命科学E	4後			2	○									兼1
	無機化学D	4後			2	○									兼1
	流体力学及び演習	4後			4	○									兼1
	応用数学Ⅰ	4前			2	○									兼1
	応用数学Ⅱ	4後			2	○									兼1
	小計 (33科目)	—	0	0	67				7	1	0	0	0		兼29
英語科目 学部外国語科目	English Core I-a	1前	1			○									兼10
	English Core I-b	1前	1			○									兼7
	English Core I-c	1後	1			○									兼10
	English Core I-d	1後	1			○									兼7
	English Core II-a	2前	1			○									兼12
	English Core II-b	2前	1			○									兼8
	English Core II-c	2後	1			○									兼12
	English Core II-d	2後	1			○									兼8
	Active Speaking Skills A	3前		1		○									兼5
	Active Speaking Skills B	3後		1		○									兼5
	Advanced Skills A	3前		1		○									兼1
	Advanced Skills B	3後		1		○									兼1
	English Comprehension A	3前		1		○									兼6
	English Comprehension B	3後		1		○									兼6
	English for Engineers A	3前		1		○									兼2
	English for Engineers B	3後		1		○									兼2
	Study Abroad A	2前		2		○									兼2
	Study Abroad B	2後		2		○									兼1
小計 (18科目)	—	8	12	0				0	0	0	0	0		兼31	
小計 (131科目)	—	90	89	67	—			7	1	0	0	0		兼64	

教育課程等の概要																	
（理工学部 物理科学科 青山スタンダード科目（全学共通科目））																	
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
青山スタンダード	フレッシュャーズ・セミナー	1前・後		2				○							兼17	オムニバス	
	ウェルカム・レクチャー	1前・後		2			○								兼4		
	キャリアデザイン・セミナー	1前・後		2			○								兼3		
	小計（3科目）	-	0	6	0			-		0	0	0	0	0	0	兼24	-
	（キリスト教理解関連科目） 教養コア科目A	キリスト教概論 I	1前・後	2				○								兼18	
（人間理解関連科目） 教養コア科目B	自己理解（総合科目）	1前・後		2			○								兼9		
	自己理解（個別科目）	1前・後		2			○								兼9		
（社会理解関連科目） 教養コア科目C	現代社会の諸問題（総合科目）	1前・後		2			○								兼9		
	現代社会の諸問題（個別科目）	1前・後		2			○								兼15		
（自然科学理解関連科目） 教養コア科目D	科学・技術の視点（総合科目）	1前・後		2			○								兼12		
	科学・技術の視点（個別科目）	1前・後		2			○								兼5		

〔歴史理解関連科目〕 教養コア科目	歴史と人間（総合科目）	1前・後		2	○													兼9	
	歴史と人間（個別科目）	1前・後		2	○														兼6
〔言葉の技能コア科目〕 技術領域の技能	英語スキル I - 1	1前		1	○														兼2
	英語スキル I - 2	1後		1	○														兼2
	フランス語 I (A) - 1	1前		1	○														兼19
	フランス語 I (A) - 2	1後		1	○														兼19
	フランス語 I (B) - 1	1前		1	○														兼19
	フランス語 I (B) - 2	1後		1	○														兼22
	ドイツ語 I (A) - 1	1前		1	○														兼12
	ドイツ語 I (A) - 2	1後		1	○														兼12
	ドイツ語 I (B) - 1	1前		1	○														兼10
	ドイツ語 I (B) - 2	1後		1	○														兼10
	スペイン語 I (A) - 1	1前		1	○														兼15
	スペイン語 I (A) - 2	1後		1	○														兼16
	スペイン語 I (B) - 1	1前		1	○														兼15
	スペイン語 I (B) - 2	1後		1	○														兼17
	中国語 I (A) - 1	1前		1	○														兼24
	中国語 I (A) - 2	1後		1	○														兼25
	中国語 I (B) - 1	1前		1	○														兼29
	中国語 I (B) - 2	1後		1	○														兼30
	ロシア語 I (A) - 1	1前		1	○														兼3
	ロシア語 I (A) - 2	1後		1	○														兼3
	ロシア語 I (B) - 1	1前		1	○														兼2
	ロシア語 I (B) - 2	1後		1	○														兼2
	韓国語 I (A) - 1	1前		1	○														兼8
	韓国語 I (A) - 2	1後		1	○														兼8
	韓国語 I (B) - 1	1前		1	○														兼8
	韓国語 I (B) - 2	1後		1	○														兼8
	英語 (I A) - 1	1前		1	○														兼2
	英語 (I A) - 2	1後		1	○														兼2
英語 (I B) - 1	1前		1	○														兼2	
英語 (I B) - 2	1後		1	○														兼2	
日本語 I (A) - 1	1前		1	○														兼3	
日本語 I (A) - 2	1後		1	○														兼3	
日本語 I (B) - 1	1前		1	○														兼3	
日本語 I (B) - 2	1後		1	○														兼3	

技能領域の コア科目 目	健康・スポーツ演習	1前・後	2													兼29	※実習
技能領域の コア科目 目	情報スキル I	1後	2													兼6	集中
	小計 (45科目)	—	6	50	0	—			0	0	0	0	0			兼246	—
技能領域の 別科目 目	キリスト教概論Ⅱ	3前・後	2													兼19	
	旧約聖書と人間	2・3・4後		2												兼1	
	キリスト教と自然科学	2・3・4前		2												兼1	
	キリスト教環境倫理	2・3・4後		2												兼1	
	世界の諸宗教	2・3・4後		2												兼1	
	聖書の中の女性たち (旧約)	2・3・4後		2												兼1	
	聖書の中の女性たち (新約)	2・3・4前		2												兼1	
	サービス・ラーニング I	2・3・4前		2												兼1	
	サービス・ラーニング II	2・3・4後		2												兼1	
	新約聖書と人間	2・3・4後		2												兼2	
	キリスト教生命倫理	2・3・4前		2												兼1	
	キリスト教政治倫理	2・3・4前		2												兼1	
	キリスト教音楽	2・3・4前		2												兼1	
	キリスト教美術	2・3・4後		2												兼1	
	メソジスト教会史	2・3・4後		2												兼1	
	海外語学・キリスト教文化研修	2・3・4前		2												兼1	集中
人間理解 別科目 目	哲学A	2・3・4前		2												兼2	
	哲学B	2・3・4後		2												兼2	
	論理学A	2・3・4前		2												兼1	
	論理学B	2・3・4後		2												兼1	
	倫理学A	2・3・4前		2												兼2	
	倫理学B	2・3・4後		2												兼1	
	言語学A	2・3・4前		2												兼1	
	言語学B	2・3・4後		2												兼1	
	日本語学A	2・3・4前		2												兼1	
	日本語学B	2・3・4後		2												兼1	
	文学A	2・3・4前		2												兼2	
	文学B	2・3・4後		2												兼2	
	美術A	2・3・4前		2												兼2	
	美術B	2・3・4後		2												兼1	
	音楽A	2・3・4前		2												兼2	
	音楽B	2・3・4後		2												兼2	
	文化人類学A	2・3・4前		2												兼2	
	文化人類学B	2・3・4後		2												兼2	
	比較文化A	2・3・4前		2												兼1	
	比較文化B	2・3・4後		2												兼1	
	心理学A	2・3・4前		2												兼4	
	心理学B	2・3・4後		2												兼4	
	教育学A	2・3・4前		2												兼1	
	教育学B	2・3・4後		2												兼1	





テ1「自然領域D」別科目 自然理解関連科目	日常生活の数理	2・3・4前	2	○																兼1	
	数理科学の視点	2・3・4後	2	○																兼1	
	生活と先端テクノロジー	2・3・4前	2	○																兼1	
	ゲノム	2・3・4後	2	○																兼1	
	野鳥の生態	2・3・4前	2	○																兼1	
	鳥類と生物多様性	2・3・4後	2	○																兼1	
	植物生態学	2・3・4前	2	○																兼1	
	宇宙科学	2・3・4前・後	2	○																兼1	
	先端エレクトロニクス	2・3・4後	2	○																兼3	オムニバス
	環境科学A	2・3・4前	2	○																兼1	
	環境科学B	2・3・4後	2	○																兼1	
	技術史A	2・3・4前	2	○																兼1	
	技術史B	2・3・4後	2	○																兼1	
	ライフサイエンス	2・3・4前	2	○																兼1	
	文化としての科学・技術A	2・3・4前	2	○																兼1	
	文化としての科学・技術B	2・3・4後	2	○																兼1	
	科学史	2・3・4後	2	○																兼1	
	生命と生態系（環境と生物）	2・3・4前	2	○																兼1	
	生命の連続（遺伝）	2・3・4後	2	○																兼1	
	かたちの科学	2・3・4後	2	○																兼1	
自然史	2・3・4後	2	○																兼1		
自然観の変遷	2・3・4後	2	○																兼1		
バイオテクノロジーと生命倫理	2・3・4後	2	○																兼1		
生物と地球環境	2・3・4前	2	○																兼1		
地球環境保全	2・3・4後	2	○																兼1		
メカの世界	2・3・4後	2	○																兼9	オムニバス	
テ1「歴史領域E」別科目 歴史理解関連科目	現代史A	2・3・4前	2	○																兼2	
	現代史B	2・3・4後	2	○																兼2	
	現代史C	2・3・4前	2	○																兼1	
	現代史D	2・3・4後	2	○																兼1	
	考古学A	2・3・4前	2	○																兼1	
	考古学B	2・3・4後	2	○																兼1	
	科学思想史A	2・3・4前	2	○																兼2	
	日本社会史A	2・3・4前	2	○																兼1	
	日本社会史B	2・3・4後	2	○																兼1	
	日本社会史C	2・3・4前	2	○																兼1	
	中国史A	2・3・4前	2	○																兼1	
	中国史B	2・3・4後	2	○																兼1	
	ヨーロッパ史A	2・3・4前	2	○																兼1	
	ヨーロッパ史B	2・3・4後	2	○																兼1	
ヨーロッパ史C	2・3・4前	2	○																兼1		
青山学院大学の歴史	2・3・4前・後	2	○																兼2		
テ1「言葉の技能領域F」別科目 言葉の技能	アメリカ合衆国の社会と文化A	2・3・4前	2	○																兼1	
	アメリカ合衆国の社会と文化B	2・3・4後	2	○																兼1	
	アメリカ合衆国の社会と文化C	2・3・4前	2	○																兼1	
	英語圏の社会と文化A	2・3・4前	2	○																兼1	
	英語圏の社会と文化B	2・3・4後	2	○																兼1	
	フランス語圏の社会と文化A	2・3・4前	2	○																兼1	
	フランス語圏の社会と文化B	2・3・4後	2	○																兼1	
	フランス語圏の社会と文化C	2・3・4後	2	○																兼1	
	ドイツ語圏の社会と文化A	2・3・4前	2	○																兼1	
	ドイツ語圏の社会と文化B	2・3・4後	2	○																兼1	
	ドイツ語圏の社会と文化C	2・3・4後	2	○																兼1	
	スペイン語圏の社会と文化A	2・3・4前	2	○																兼1	
スペイン語圏の社会と文化B	2・3・4後	2	○																兼1		





	フランス語Ⅲ (A) -2	2・3・4後	1	○								兼1
	フランス語Ⅲ (B) -1	2・3・4前	1	○								兼1
	フランス語Ⅲ (B) -2	2・3・4後	1	○								兼1
	フランス語会話 (Ⅱ) -1	2・3・4前	1	○								兼1
	フランス語会話 (Ⅱ) -2	2・3・4後	1	○								兼1
	ドイツ語Ⅲ-1	2・3・4前	1	○								兼1
	ドイツ語Ⅲ-2	2・3・4後	1	○								兼1
	ドイツ語会話 (Ⅱ) -1	2・3・4前	1	○								兼1
	ドイツ語会話 (Ⅱ) -2	2・3・4後	1	○								兼1
	スペイン語Ⅲ-1	2・3・4前	1	○								兼1
	スペイン語Ⅲ-2	2・3・4後	1	○								兼1
	スペイン語会話 (Ⅱ) -1	2・3・4前	1	○								兼1
	スペイン語会話 (Ⅱ) -2	2・3・4後	1	○								兼1
	中国語Ⅲ-1	2・3・4前	1	○								兼1
	中国語Ⅲ-2	2・3・4後	1	○								兼1
	中国語会話 (Ⅱ) -1	2・3・4前	1	○								兼1
	中国語会話 (Ⅱ) -2	2・3・4後	1	○								兼1
	ロシア語Ⅲ-1	2・3・4前	1	○								兼1
	ロシア語Ⅲ-2	2・3・4後	1	○								兼1
	ロシア語会話 (Ⅱ) -1	2・3・4前	1	○								兼1
	ロシア語会話 (Ⅱ) -2	2・3・4後	1	○								兼1
	韓国語Ⅲ-1	2・3・4前	1	○								兼1
	韓国語Ⅲ-2	2・3・4後	1	○								兼1
	英語 (Ⅱ A) -1	2・3・4前	1	○								兼1
	英語 (Ⅱ A) -2	2・3・4後	1	○								兼1
	英語 (Ⅱ B) -1	2・3・4前	1	○								兼1
	英語 (Ⅱ B) -2	2・3・4後	1	○								兼1
	日本語Ⅱ-1	2・3・4前	1	○								兼3
	日本語Ⅱ-2	2・3・4後	1	○								兼3
	日本語Ⅲ-1	2・3・4前	1	○								兼1
	日本語Ⅲ-2	2・3・4後	1	○								兼1
テマ別科目	健康医学	2・3・4前・後	2	○								兼5
	スポーツ生理学	2・3・4後	2	○								兼1
	スポーツバイオメカニクス	2・3・4前・後	2	○								兼1
	スポーツ心理学	2・3・4後	2	○								兼1
	スポーツ運動実習	2・3・4前・後	1			○						兼23
	アドバンススポーツ実習	2・3・4前	2			○						兼2
	動きの人間学	2・3・4前・後	2	○								兼1
	医療社会学	2・3・4前・後	2	○								兼1
テマ別科目	ウェブプログラミング	2・3・4前	2	○								兼2
	コンピュータプログラミング	2・3・4後	2	○								兼4
	コンピュータと社会	2・3・4後	2	○								兼1
	データ分析入門	2・3・4前	2	○								兼3
	情報スキルⅡ	2・3・4前・後	2			○						兼3
テマ別科目	キャリアデザイン基礎	2・3・4後	2	○								兼1
	キャリアデザイン応用	3・4前	2	○								兼1
	仕事力基礎論	3・4前	2	○								兼1
	国際ビジネス入門A	2・3・4前	2	○								兼1
	国際ビジネス入門B	2・3・4後	2	○								兼1
	国際ビジネスと海外事情A	2・3・4前	2	○								兼1
	国際ビジネスと海外事情B	2・3・4後	2	○								兼1
	感性ビジネスA	2・3・4前	2	○								兼1
	感性ビジネスB	2・3・4後	2	○								兼1

感性ビジネスC	2・3・4前	2		○								兼1	
感性ビジネスD	2・3・4後	2		○								兼1	
パーソナル・マネー・マネジメント入門	2・3・4前	2		○								兼1	
現代金融の諸問題	2・3・4後	2		○								兼1	
囲碁で養うロジカルシンキング	2・3・4前・後	2		○								兼1	※演習
海外語学・文化研修Ⅰ	2・3・4前	2		○								兼1	
海外語学・文化研修Ⅱ	2・3・4前	2		○								兼1	
海外語学・文化研修Ⅲ	2・3・4前	2		○								兼1	
インターンシップⅠ	2・3・4前	2		○								兼1	
インターンシップⅡ	2・3・4前	2		○								兼1	
インターンシップⅢ	2・3・4前	2		○								兼1	
世界遺産入門	2・3・4前	2		○								兼2	
営業学入門	2・3・4前	2		○								兼2	
サービス・ラーニングとしてのボランティア活動	2・3・4前	2		○								兼1	
小計 (329科目)	—	2	531	0	—	0	0	0	0	0	0	兼261	—
小計 (377科目)	—	8	587	0	—	0	0	0	0	0	0	兼416	—

教 育 課 程 等 の 概 要

（理工学部 数理サイエンス学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
数学・共通科目	線形代数ⅠA	1前	2			○			4	4					兼2
	線形代数ⅠB	1後	2			○			4	4					兼2
	解析学ⅠA	1前	2			○			4	4					兼2
	解析学ⅠB	1後	2			○			4	4					兼2
	物理学Ⅰ	1前		2		○									兼4
	物理学Ⅱ	1後		2		○									兼4
	化学Ⅰ	1前		2		○									兼4
	化学Ⅱ	1後		2		○									兼2
	小計（8科目）	—		8	8	0				4	4	0	0	0	兼12
専門実験・実習・演習	物理基礎実験Ⅰ	1前	1					○							兼2
	物理基礎実験Ⅱ	1後	1					○							兼2
	化学基礎実験	1前・後			2			○							兼3
	電気計測実験	1前・後	1					○							兼1
	ものづくり実習	1前・後	1					○							兼3
	情報処理実習	1前・後	2					○							兼4
	基礎数学Ⅰ演習	1前	2				○								兼1
	基礎数学Ⅱ演習	1後	2				○		1						兼1
	計算機応用実習	2後	1					○		1					兼1
	計算機基礎実習	3前	1					○		1					兼1
	数理専門演習Ⅰ	3前	2				○								兼1
	数理専門演習Ⅱ	3後	2				○								兼1
	数理専門演習A	3前	4				○								兼1
	理工学実践演習Ⅰ	2前			2		○		4	4					兼2
理工学実践演習Ⅱ	2後			2		○		4	4					兼2	
理工学実践演習Ⅲ	3前	2				○		4	4					兼2	
理工学実践演習Ⅳ	3後	2				○		4	4					兼2	
小計（17科目）	—		24	0	6				4	4	0	0	0	兼15	
輪講・卒業研究	数理輪講Ⅰ	4前	2					○							兼2
	数理輪講Ⅱ	4後	2					○							兼2
	数理輪講A	4後	4					○							兼2
	卒業研究Ⅰ	4前	4					○							兼2
	卒業研究Ⅱ	4後	4					○							兼2
	卒業研究A	4後	8					○							兼2
	理工学高度実践研究Ⅰ	4前	4					○							兼2
	理工学高度実践研究Ⅱ	4後	4					○							兼2
小計（8科目）	—		32	0	0				4	4	0	0	0	兼2	
第1科目群	基礎数学Ⅰ	1前	2			○									兼1
	基礎数学Ⅱ	1後	2			○			1						兼1
	線形代数Ⅱ	2前	2			○			1						兼1
	微分方程式Ⅰ	2前	2			○				1					兼1
	解析学Ⅱ	2前	2			○			2						兼1
	応用初等代数	2前		2		○									兼1
	確率統計	2前		2		○			1						兼1
	解析学Ⅲ	2前		2		○				1					兼1
	線形代数Ⅲ	2後		2		○									兼1
	集合と位相	2後		2		○				1					兼1
計算数学	2後		2		○				1					兼1	





英語科目	学部外国語科目	English Core II-d	2後	1		○								兼8	
		Active Speaking Skills A	3前		1	○									兼5
		Active Speaking Skills B	3後		1	○									兼5
		Advanced Skills A	3前		1	○									兼1
		Advanced Skills B	3後		1	○									兼1
		English Comprehension A	3前		1	○									兼6
		English Comprehension B	3後		1	○									兼6
		English for Engineers A	3前		1	○									兼2
		English for Engineers B	3後		1	○									兼2
		Study Abroad A	2前		2	○									兼2
		Study Abroad B	2後		2	○									兼1
		小計 (18科目)		—	8	12	0			0	0	0	0	0	0
小計 (110科目)		—	82	94	27	—		4	4	0	0	0	0	兼61	

教育課程等の概要																	
（理工学部 数理サイエンス学科 青山スタンダード科目（全学共通科目））																	
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
青山スタンダード	フレッシュャーズ・セミナー	1前・後		2				○							兼17	オムニバス	
	ウェルカム・レクチャー	1前・後		2			○								兼4		
	キャリアデザイン・セミナー	1前・後		2			○								兼3		
	小計（3科目）	-	0	6	0			-		0	0	0	0	0	0	兼24	-
	（キリスト教理解関連科目） 教養コアA科目	キリスト教概論 I	1前・後	2				○								兼18	
（人間理解関連科目） 教養コアB科目	自己理解（総合科目）	1前・後		2			○								兼9		
	自己理解（個別科目）	1前・後		2			○								兼9		
（社会理解関連科目） 教養コアC科目	現代社会の諸問題（総合科目）	1前・後		2			○								兼9		
	現代社会の諸問題（個別科目）	1前・後		2			○								兼15		
（自然科学理解関連科目） 教養コアD科目	科学・技術の視点（総合科目）	1前・後		2			○								兼12		
	科学・技術の視点（個別科目）	1前・後		2			○								兼5		



技能領域の コア科目 目	健康・スポーツ演習	1前・後	2												兼29	※実習
技能領域の コア科目 目	情報スキル I	1後	2												兼6	集中
	小計 (45科目)	—	6	50	0	—			0	0	0	0	0	0	兼246	—
技能領域の コア科目 目	キリスト教概論Ⅱ	3前・後	2												兼19	
	旧約聖書と人間	2・3・4後		2											兼1	
	キリスト教と自然科学	2・3・4前		2											兼1	
	キリスト教環境倫理	2・3・4後		2											兼1	
	世界の諸宗教	2・3・4後		2											兼1	
	聖書の中の女性たち (旧約)	2・3・4後		2											兼1	
	聖書の中の女性たち (新約)	2・3・4前		2											兼1	
	サービス・ラーニング I	2・3・4前		2											兼1	
	サービス・ラーニング II	2・3・4後		2											兼1	
	新約聖書と人間	2・3・4後		2											兼2	
	キリスト教生命倫理	2・3・4前		2											兼1	
	キリスト教政治倫理	2・3・4前		2											兼1	
	キリスト教音楽	2・3・4前		2											兼1	
	キリスト教美術	2・3・4後		2											兼1	
	メソジスト教会史	2・3・4後		2											兼1	
	海外語学・キリスト教文化研修	2・3・4前		2											兼1	集中
技能領域の コア科目 目	哲学A	2・3・4前		2											兼2	
	哲学B	2・3・4後		2											兼2	
	論理学A	2・3・4前		2											兼1	
	論理学B	2・3・4後		2											兼1	
	倫理学A	2・3・4前		2											兼2	
	倫理学B	2・3・4後		2											兼1	
	言語学A	2・3・4前		2											兼1	
	言語学B	2・3・4後		2											兼1	
	日本語学A	2・3・4前		2											兼1	
	日本語学B	2・3・4後		2											兼1	
	文学A	2・3・4前		2											兼2	
	文学B	2・3・4後		2											兼2	
	美術A	2・3・4前		2											兼2	
	美術B	2・3・4後		2											兼1	
	音楽A	2・3・4前		2											兼2	
	音楽B	2・3・4後		2											兼2	
	文化人類学A	2・3・4前		2											兼2	
	文化人類学B	2・3・4後		2											兼2	
	比較文化A	2・3・4前		2											兼1	
	比較文化B	2・3・4後		2											兼1	
	心理学A	2・3・4前		2											兼4	
	心理学B	2・3・4後		2											兼4	
	教育学A	2・3・4前		2											兼1	
	教育学B	2・3・4後		2											兼1	



テ1「自然領域D」別科目 自然理解関連科目	日常生活の数理	2・3・4前	2	○								兼1	
	数理科学の視点	2・3・4後	2	○								兼1	
	生活と先端テクノロジー	2・3・4前	2	○								兼1	
	ゲノム	2・3・4後	2	○								兼1	
	野鳥の生態	2・3・4前	2	○								兼1	
	鳥類と生物多様性	2・3・4後	2	○								兼1	
	植物生態学	2・3・4前	2	○								兼1	
	宇宙科学	2・3・4前・後	2	○								兼1	
	先端エレクトロニクス	2・3・4後	2	○								兼3	オムニバス
	環境科学A	2・3・4前	2	○								兼1	
	環境科学B	2・3・4後	2	○								兼1	
	技術史A	2・3・4前	2	○								兼1	
	技術史B	2・3・4後	2	○								兼1	
	ライフサイエンス	2・3・4前	2	○								兼1	
	文化としての科学・技術A	2・3・4前	2	○								兼1	
	文化としての科学・技術B	2・3・4後	2	○								兼1	
	科学史	2・3・4後	2	○								兼1	
	生命と生態系（環境と生物）	2・3・4前	2	○								兼1	
	生命の連続（遺伝）	2・3・4後	2	○								兼1	
	かたちの科学	2・3・4後	2	○								兼1	
自然史	2・3・4後	2	○								兼1		
自然観の変遷	2・3・4後	2	○								兼1		
バイオテクノロジーと生命倫理	2・3・4後	2	○								兼1		
生物と地球環境	2・3・4前	2	○								兼1		
地球環境保全	2・3・4後	2	○								兼1		
メカの世界	2・3・4後	2	○								兼9	オムニバス	
テ1「歴史領域E」別科目 歴史理解関連科目	現代史A	2・3・4前	2	○								兼2	
	現代史B	2・3・4後	2	○								兼2	
	現代史C	2・3・4前	2	○								兼1	
	現代史D	2・3・4後	2	○								兼1	
	考古学A	2・3・4前	2	○								兼1	
	考古学B	2・3・4後	2	○								兼1	
	科学思想史A	2・3・4前	2	○								兼2	
	日本社会史A	2・3・4前	2	○								兼1	
	日本社会史B	2・3・4後	2	○								兼1	
	日本社会史C	2・3・4前	2	○								兼1	
	中国史A	2・3・4前	2	○								兼1	
	中国史B	2・3・4後	2	○								兼1	
	ヨーロッパ史A	2・3・4前	2	○								兼1	
	ヨーロッパ史B	2・3・4後	2	○								兼1	
ヨーロッパ史C	2・3・4前	2	○								兼1		
青山学院大学の歴史	2・3・4前・後	2	○								兼2		
テ1「言葉の技能領域F」別科目 言葉の技能	アメリカ合衆国の社会と文化A	2・3・4前	2	○								兼1	
	アメリカ合衆国の社会と文化B	2・3・4後	2	○								兼1	
	アメリカ合衆国の社会と文化C	2・3・4前	2	○								兼1	
	英語圏の社会と文化A	2・3・4前	2	○								兼1	
	英語圏の社会と文化B	2・3・4後	2	○								兼1	
	フランス語圏の社会と文化A	2・3・4前	2	○								兼1	
	フランス語圏の社会と文化B	2・3・4後	2	○								兼1	
	フランス語圏の社会と文化C	2・3・4後	2	○								兼1	
	ドイツ語圏の社会と文化A	2・3・4前	2	○								兼1	
	ドイツ語圏の社会と文化B	2・3・4後	2	○								兼1	
	ドイツ語圏の社会と文化C	2・3・4後	2	○								兼1	
	スペイン語圏の社会と文化A	2・3・4前	2	○								兼1	
スペイン語圏の社会と文化B	2・3・4後	2	○								兼1		







	フランス語Ⅲ (A) -2	2・3・4後	1	○								兼1
	フランス語Ⅲ (B) -1	2・3・4前	1	○								兼1
	フランス語Ⅲ (B) -2	2・3・4後	1	○								兼1
	フランス語会話 (Ⅱ) -1	2・3・4前	1	○								兼1
	フランス語会話 (Ⅱ) -2	2・3・4後	1	○								兼1
	ドイツ語Ⅲ-1	2・3・4前	1	○								兼1
	ドイツ語Ⅲ-2	2・3・4後	1	○								兼1
	ドイツ語会話 (Ⅱ) -1	2・3・4前	1	○								兼1
	ドイツ語会話 (Ⅱ) -2	2・3・4後	1	○								兼1
	スペイン語Ⅲ-1	2・3・4前	1	○								兼1
	スペイン語Ⅲ-2	2・3・4後	1	○								兼1
	スペイン語会話 (Ⅱ) -1	2・3・4前	1	○								兼1
	スペイン語会話 (Ⅱ) -2	2・3・4後	1	○								兼1
	中国語Ⅲ-1	2・3・4前	1	○								兼1
	中国語Ⅲ-2	2・3・4後	1	○								兼1
	中国語会話 (Ⅱ) -1	2・3・4前	1	○								兼1
	中国語会話 (Ⅱ) -2	2・3・4後	1	○								兼1
	ロシア語Ⅲ-1	2・3・4前	1	○								兼1
	ロシア語Ⅲ-2	2・3・4後	1	○								兼1
	ロシア語会話 (Ⅱ) -1	2・3・4前	1	○								兼1
	ロシア語会話 (Ⅱ) -2	2・3・4後	1	○								兼1
	韓国語Ⅲ-1	2・3・4前	1	○								兼1
	韓国語Ⅲ-2	2・3・4後	1	○								兼1
	英語 (Ⅱ A) -1	2・3・4前	1	○								兼1
	英語 (Ⅱ A) -2	2・3・4後	1	○								兼1
	英語 (Ⅱ B) -1	2・3・4前	1	○								兼1
	英語 (Ⅱ B) -2	2・3・4後	1	○								兼1
	日本語Ⅱ-1	2・3・4前	1	○								兼3
	日本語Ⅱ-2	2・3・4後	1	○								兼3
	日本語Ⅲ-1	2・3・4前	1	○								兼1
	日本語Ⅲ-2	2・3・4後	1	○								兼1
テマ別科目	健康医学	2・3・4前・後	2	○								兼5
	スポーツ生理学	2・3・4後	2	○								兼1
	スポーツバイオメカニクス	2・3・4前・後	2	○								兼1
	スポーツ心理学	2・3・4後	2	○								兼1
	スポーツ運動実習	2・3・4前・後	1			○						兼23
	アドバンススポーツ実習	2・3・4前	2			○						兼2
	動きの人間学	2・3・4前・後	2	○								兼1
	医療社会学	2・3・4前・後	2	○								兼1
テマ別科目	ウェブプログラミング	2・3・4前	2	○								兼2
	コンピュータプログラミング	2・3・4後	2	○								兼4
	コンピュータと社会	2・3・4後	2	○								兼1
	データ分析入門	2・3・4前	2	○								兼3
	情報スキルⅡ	2・3・4前・後	2			○						兼3
テマ別科目	キャリアデザイン基礎	2・3・4後	2	○								兼1
	キャリアデザイン応用	3・4前	2	○								兼1
	仕事力基礎論	3・4前	2	○								兼1
	国際ビジネス入門A	2・3・4前	2	○								兼1
	国際ビジネス入門B	2・3・4後	2	○								兼1
	国際ビジネスと海外事情A	2・3・4前	2	○								兼1
	国際ビジネスと海外事情B	2・3・4後	2	○								兼1
	感性ビジネスA	2・3・4前	2	○								兼1
	感性ビジネスB	2・3・4後	2	○								兼1

感性ビジネスC	2・3・4前	2		○								兼1	
感性ビジネスD	2・3・4後	2		○								兼1	
パーソナル・マネー・マネジメント入門	2・3・4前	2		○								兼1	
現代金融の諸問題	2・3・4後	2		○								兼1	
囲碁で養うロジカルシンキング	2・3・4前・後	2		○								兼1	※演習
海外語学・文化研修Ⅰ	2・3・4前	2		○								兼1	
海外語学・文化研修Ⅱ	2・3・4前	2		○								兼1	
海外語学・文化研修Ⅲ	2・3・4前	2		○								兼1	
インターンシップⅠ	2・3・4前	2		○								兼1	
インターンシップⅡ	2・3・4前	2		○								兼1	
インターンシップⅢ	2・3・4前	2		○								兼1	
世界遺産入門	2・3・4前	2		○								兼2	
営業学入門	2・3・4前	2		○								兼2	
サービス・ラーニングとしてのボランティア活動	2・3・4前	2		○								兼1	
小計 (329科目)	—	2	531	0	—	0	0	0	0	0	0	兼261	—
小計 (377科目)	—	8	587	0	—	0	0	0	0	0	0	兼416	—